

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2024年1月16日

BMJ:

米国では新型コロナ流行増加を受けて、マスク着用を推奨する州と医療施設が増えている

【松崎雑感】

日本では、医療機関スタッフのマスク着用は、デフォルト（「定番」「普通」「標準」）となっているようですが、それ以外の国ではそうでもないようです。でも、JN.1の流行により、アメリカでも、医療施設を中心にマスク着用「再」義務化が始まっているようです。私は、コロナ前にはマスク反対派でしたが、現在は、工作中はマスク、感染に弱い人々と接触する可能性のある屋内でもマスク着用を心がけています。

米国では新型コロナ流行増加を受けて、マスク着用を推奨する州と医療施設が増えている

Tanne JH. **Covid-19: Some US states and hospitals recommend masks again.** **BMJ.** 2024;384:q26. Published 2024 Jan 5. doi:10.1136/bmj.q26

米国の州、病院や医療センターは12月下旬に新型コロナ、インフルエンザ、RSV感染増加を受けて、マスクの着用を推奨するガイドラインを再発出した。

少なくとも6つの州といくつかの病院では、スタッフと患者のマスク着用義務を再開することを決定した。カリフォルニア、イリノイ、マサチューセッツ、ノースカロライナ、ワシントン各州は、屋内でのマスク着用を義務付けるガイドラインを発表している。

ニューヨーク市の公立病院では、患者が治療を受けているエリアでスタッフにマスクを義務付けた。この措置は、米国最大の医療ケアシステムであるニューヨーク市 Health + Hospitals Corporationが運営するすべての診療所、老人ホーム、長期介護施設にも適用される。

ニューヨーク市のアシュウィン・ヴァサン保健局長は、方針変更の理由はスタッフと患者を守るためと述べた。「医療スタッフの不足を防ぐためだ。2022年にオミクロン株の波が来たとき、最大の問題は、一般市民が感染するだけでなく、多くの医療従事者がコロナに感染して休まざるを得なくなっている事だった」と彼は述べた。

米国最大規模の病院系研究機関であるマサチューセッツ州ボストンのブリガム医療システムとダナ・ファーマーがん研究所は、患者とスタッフにマスクを義務付けると述べた。

ワシントンDCのMedStar国立リハビリテーション病院、シカゴのクック郡保健、ウィスコンシン大学病院および診療所、ロサンゼルス郡公衆衛生局、カリフォルニア州の他のいくつかの病院もこの規定を設けている。

CDCは、12月23日の最新の報告で、COVID-19感染の最新指標が増加し、検査陽性率が0.7%増加し、covid-19と診断された救急外来受診が12%増加したと報告した。

また、ここ数週間の入院患者数は16.7%増加し、COVID-19による死亡者数は10%増加した。下水サーベイランスデータも新型コロナ感染の急増を示した。

新型コロナ感染者数の増加は、新しい変異株であるJN.1の蔓延に起因している。ただし、重症化リスクが高いことはなさそうで、現在のワクチンは重症化防止効果があると言われている。

新型コロナ、インフルエンザ、RSVの3つのウイルスすべてから身を守るワクチンが利用できるのは今シーズンが初めてだが、ワクチンの接種率は残念なほど低いと専門家は指摘する。

ニューヨーク・タイムズ紙が報じたところでは、高齢者は感染リスクが高いが、推奨される注射を受けた人はほとんどいなかった。

最新の新型コロナワクチンを接種していた成人はわずか19%だった。

一方44%が毎年インフルエンザの予防接種を受けていた。60歳以上の成人の約17%がRSVワクチンを接種していた。75歳以上で、最新の予防接種を受けた人は約3分の1に過ぎない。